

<h1 style="margin: 0;">数学 I</h1>
----------------------------------

教科名	数学	単位数	4 単位	学科・学年	普通科 1年
教科書名	数学 I Standard			出版社名	東京書籍
副教材等	STAGE 数学 I + A			出版社名	東京書籍
科目目標	数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。				
到達目標 (検定目標)	教科書の例、問、例題、問題及び練習問題が自分の力で解けるようになること。				
成績評価	定期考査・実力テスト・数学テストの成績および課題の提出などを基に、評価の観点により総合的に評価する。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

## 授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	<b>1章 数と式 [20]</b> 1節 式の計算 [8] 1 整式 (1) 2 整式の加法・減法・乗法 (3) 3 因数分解 (3) Training (1)	単項式，次数，係数，多項式，項，整式など，式についての用語の意味を理解する。また，特定の文字に着目することや，同類項，次数，定数項によって整式を整理することなど，式についていろいろな見方ができる。	●		●	
		整式の加法・減法，指数法則，整式の乗法，多項式の乗法公式など，基本的な計算ができる。また，式の一部を別の文字に置き換えるなどして，見通しをもって能率よく展開することができる。		●	●	●
5	2節 実数 [5] 1 実数 (2) 2 根号を含む式の計算 (2.5) Training (0.5)	乗法公式と関連させて，因数分解の公式を利用することができる。また，式を工夫する基本的な方法を身につけ，能率よく因数分解することができる。		●	●	●
		数を拡張することに興味をもち，自然数，整数，有理数，無理数，実数の意味を理解する。また，絶対値の定義をもとに，絶対値記号を含む式の計算ができる。	●		●	●
6	<b>2章 集合と論証 [8]</b> 1節 集合 [2.5] 1 集合 (2) Training (0.5)	根号を含む式の計算ができる。また，分母の有理化について理解し，基本的な計算ができる。		●	●	
		不等式の意味を理解し，数量の間の大小関係を不等式で表すことができる。また，不等式の基本性質を理解する。		●	●	●
7	2節 命題と論証 [4.5] 1 命題と条件 (2) 2 論証 (1.5) Training (1) Level Up [1]	不等式の性質をもとに，不等式の解と不等式を解くことの意味を理解する。また，1次不等式を解くことができる。		●	●	
		1次不等式を文章題に応用することができる。また，連立1次不等式を解くことができる。	●		●	●
		集合の包含関係，共通部分と和集合，空集合，補集合，ド・モルガンの法則を理解する。また，集合に関する記号の意味を理解し，適切に使うことができる。		●	●	●

